



目指すはプロの絵本作家! 図書館本館で絵本原画展を開催

岡本理紗子さん(21歳)曰撫



ある場所で自分の原画展を開催でき、とても幸せな気分です」と笑顔で話します。

絵本へのこだわりは、文と絵の両方を手掛けること。最初の作品は絵のみの担当でしたが、描いていくうちに絵だけでなく、文も書きたいという気持ちに気付き、2作目以降は文も書いています。

作家活動が軌道に乗ったら豊岡に帰り、落ち着いた環境の中で、時間に追われず、じっくりと作品を作り続けたいと語る岡本さん。夢のかなう日が待ちわびられます。

京都嵯峨芸術大学短期大学部専攻科2回生の岡本理紗子さん。プロの絵本作家を目指し、創作活動に励んでいます。絵本を作り始めたきっかけは、高校2年生の時、海外の絵本作家の原画展を見たこと。大学1回生の後半から本格的に活動を開始し、七つの作品を作り上げました。

8月下旬には、図書館本館で「絵本原画展」と絵本の読み聞かせ会を開催。

子どものころから図書館本館が好きで、よく通っていたという岡本さん。「思い入れの

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲神鍋高原に踊りの風が吹く

神鍋火山まつり

踊りをテーマに4年ぶりに復活!

9月3日、アップかななベスキー場と道の駅「神鍋高原」の駐車場で、第38回神鍋火山まつり(主催・日高神鍋観光協会)が開催され、約6千人の来場者が、よさこい踊りの演舞や打ち上げ花火などを楽しみました。

平成25年から予算不足などを理由に休止していた神鍋火山まつり。花火だけでなく、地域に伝わる民謡「そうだる節」にスポットを当て、よさこい踊りをテーマにした祭りに生まれ変わりました。

踊りには県内各地や鳥取県などから公募により15チームが参加。鳴子を振り鳴らし迫力ある演舞を披露しました。最後は、神鍋の夜空に4年振りに舞った約千発の花火が、来場者を魅了しました。

2016コウノトリチャレンジライド

但馬の自然の中を思いっきりツーリング!

9月4日、城崎中学校を発着点として「2016コウノトリチャレンジライド」が開催されました。

5回目を迎え、すっかり人気イベントとして定着したこの大会、北は北海道から南は福岡県まで、過去最多となる約800人がエントリーしました。

コースは、竹野海岸や神鍋高原など、風光明媚な山陰海岸ジオパークを巡るもので、山陰海岸ジオパークの特徴でもある激しいアップダウンも魅力の一つです。

参加者たちは、チェックポイントで振る舞われた地元の特産品や、沿道の観客からの声援を励みに、標高差約400m、全長約120kmの走りごたえのあるロングコースを力走しました。



▲風を切って走る参加者たち



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

広報とよおか 2016(平成28)年10月号